



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催



このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。

東近江土木事務所では、管内における地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について意見聴取することを目的に、有識者、公募委員、道路利用者等からなる「地域ワーキング」を開催しました。

◆◆◆ 第1回地域ワーキング開催概要 ◆◆◆

[日時] 令和4年7月26日（火）
13:30～15:30

[場所] 東近江合同庁舎 3階3C会議室

▶ 道路整備アクションプログラム等に関する説明

- ・滋賀県の道路整備の進め方
- ・道路整備アクションプログラムの見直し
- ・アクションプログラム2018の取組状況
- ・県民アンケート結果、各市町から意見 等

▶ 道路、交通の問題点や課題等についてご意見を伺いました

- ・地域の課題の抽出や、その課題を踏まえた今後の道路整備についての意見をお聞きました。

道路整備 アクション プログラム とは

「道路整備アクションプログラム」とは、「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を具体的に示した道路の整備計画のことで、県内8地域別に策定しています。

このプログラムは、社会情勢の変化や政策課題に係る変更が生じた場合に適宜見直し、最長でも5年後には見直すこととしており、平成15年度の公表から5年サイクルでこれまで3回の見直しを実施しました。

今回は道路整備マスタープランの改定を受け、4回目の見直しを実施します。『アクションプログラム2023』では、令和5年度～令和14年度までの10年間における道路整備計画を明らかにします。

■平成30～令和4年度の間に完了した事業の一例

(都) 近江八幡能登川線 (伊庭・山路)

整備前の状況



開通後の状況



見直しの手順

- ①地域WGの意見、県民アンケート、市町意見等を踏まえて「地域の声」「地域重点項目」を設定する。
- ②最新データに基づき、客観的評価マニュアル※により事業を評価する。
- ③選択と集中を図り、早期に事業効果を発現できる事業を抽出する。

アクションプログラム策定スケジュール

第1回
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見を伺いました。

今回

第2回
ワーキング

第1回WGで頂いた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見を伺います。

第3回
ワーキング

「地域の声」「地域の重点項目」「定量的指標」等の報告、個別路線の代表候補箇所を提示し、意見を伺います。

第4回
ワーキング

アクションプログラム2023(案)を提示し内容について意見を伺います。

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

※客観的評価マニュアルについて

「客観的評価マニュアル」とは、アクションプログラムにおける事業の優先度を誰が見ても納得できる結果とするための客観的な評価方法を記載したものです。

これにより、バイパス整備や道路拡幅、交差点改良などの「改築事業」、歩道や自転車歩行者道整備などの「交通安全事業」について、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3段階でランク分けを行います。

ワーキングでいただいた主なご意見

▶アクションプログラム2018等の道路整備による地域の変化

- ・ラウンドアバウトは、信号のない方が事故も少ないと言われており、また、節電や経済的にも良い。
- ・道路が良くなると交通量も増えていくので、その点も考えてもらいたい。
- ・3年前の津市内の事故を受けて、歩行者の保護に対する要望が増えてきている。

▶東近江地域における道路の問題・課題

- ・国道8号に向かう道路が渋滞している。近江鉄道とJRが通っているので、連休や土日はとても混雑して、細い道の踏切を通過しないといけない。
- ・国道に通じる道が2本通っているが、近江八幡市内から国道に直接出る道がない。
- ・道路の端にグリーンベルトを整備しているが、とても歩ける幅ではない箇所がある。

▶東近江地域の道路整備について

- ・近江八幡市内から国道に広い道を通してほしい。
- ・八日市ICは、そこに行くまでの国道421号の幅員が狭く、大型車の離合がギリギリの箇所があるので、国道8号から大型車でも楽に離合できるようなアクセス道路があれば良いと思う。
- ・いずれ名阪・名神の連絡道路が計画されるのであれば、そこへのアクセスも考える必要があるので、旧八日市に入っていくような幹線道路が整備されたらと思う。
- ・令和7年開通予定の野洲栗東から大津までスムーズに走れる高機能道路に対応できるよう、国道8号に並行した道路があればと思う。

その他

- ・異常水害等、想定を超える被害を考えたプランの検討が必要だと思う。
- ・高齢化が進む中で、車に乗る人が減っていくので、道路整備ばかりを進めるのもどうかと思う。
- ▶ 隣の野洲市や湖南市、東近江土木、甲賀土木、南部土木の3土木の連携が必要だと思う。
- ・デマンドタクシーや駅周辺の整備など、マイカーに頼らずに動ける生活の考え方に変わっていかないといけない。そのためには、ロータリーやバスを転回する場所をとってもらって道路整備も重要だと思う。
- ・高齢化が進む中で、車の自動運転を含め、道路整備だけでなく、道路に関連する施設整備も考えていかなくてはならない。



地域ワーキング委員(敬称略、五十音順)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 井口 清幸 [竜王町 産業建設主監] | 藤田明男 [東近江市都市整備部 次長](代理出席) |
| 上阪 廣子 [近江八幡地区交通安全協会 会長] | 塚口 博司 [立命館大学 名誉教授] (座長) |
| 大塚 心さ [社会福祉法人東近江市社会福祉協議会 会長] | 福本 盛重 [近江八幡市都市整備部 部長] |
| 改田 俊次 [公募委員] | 前出みずほ [近江八幡商工会議所女性会 副会長] |
| 藏口きよ江 [公募委員] | 山本身江子 [日野町地域女性団体連合会 会長] |
| 嶋村 和典 [日野町建設計画課 課長] | |
| 洲鎌 雅之 [東近江警察署交通課 課長] | |

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 東近江地域ワーキング
～東近江地域ワーキングニュース～ 2022年10月発行

【編集・発行】滋賀県東近江土木事務所道路計画課

〒527-8511 東近江市八日市緑町7-23 TEL:0748-22-7735 FAX:0748-23-4163

E-mail: ha33100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/326756.html>

議事録URL
はこちら

